

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 066	提案機関名 畜産課
<b>要望問題名</b> かながわ鶏の安定品質確保に向けた雛生産技術の確立等及び鶏肉の品質向上等に向けた研究	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、ブランド化を目指すかながわ鶏は、年間を通じた安定品質の確保と生産コストの削減、神奈川の特徴を活かした鶏肉開発等が求められている。 そこで、安定品質の鶏肉生産を目指した高品質な雛の生産技術の確立を図るとともに、季節変動に左右されない飼養管理技術の確立、未利用資源の活用、地域性を活かした特色ある肉質開発等、生産コストの削減、品質向上に向けた研究の取り組みをお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産技術センター	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立 (H26～28) かながわ鶏の飼養管理技術の確立 (H29～33) 地域資源を活用した鶏卵・鶏肉の生産方法の検討 (H28～30)			
<b>対応の内容等</b> かながわ鶏については、過去に地域資源の活用、生産コストの削減について取り組んでおり、平成29年度は引き続き地域資源の飼料化技術に取り組んでいる他、ヒナの安定供給のために初期の栄養管理について検討しているところです。 ご要望いただいた点につきましては実施中の課題の中で優先順位を付けて取り組んでいきます。 平成30年度はヒナの初期栄養管理、地域資源の活用を中心に取り組む予定です。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			